

がん検診を受けよう!

1年でがんでなくなる人の数は日本全体でおよそ33万人（2007年度）。しかも、がんによる死亡者は年々増加傾向にあるのはご存知でしょうか？

特に初期における自覚症状はほとんどなく、初期の多くは検診などを受けていただかないとまずは見つかることはありません。右の表は胃がんの5年生存率です。I期（初期）で見つかった場合は、5年後の生存率は98%ですが、II、III、IV期（末期）と進行段階が進むにつれ、5年後の生存率が低くなることを表しています。特にIV期（末期）では、5年後の生存率は6%と大変低い数値となっています。

胃がんの5年生存率

病期	5年生存率
I期(初期)	98.70%
II期	72.50%
III期	43.20%
IV期(末期)	6.20%

国立がんセンター 『がん情報サービス』より

神戸市の行なうがん検診

検診の種類	対象者	主な検査方法	自己負担額
胃がん検診	40歳以上の男性・女性	胃エックス線検査	600円
大腸がん検診	40歳以上の男性・女性	便潜血反応検査	500円
肺がん検診	40歳以上の男性・女性	胸部エックス線検査と 喀痰細胞検査	1,000円
乳がん検診	40歳以上の偶数歳の女性	マンモグラフィと 視触診の併用検査	40歳代は2,000円 50歳以上は1,500円
子宮がん検診	20歳以上の偶数歳の女性	子宮頸部の細胞診検査	1,700円

上記の金額は神戸市の参考金額で、市町によって実施内容・対象者・自己負担額は異なります。詳細は各市町にお問い合わせ下さい。



早期発見・早期治療があなたを病魔から守ることになります。

建設国保組合員・家族が市町の行なう公的な健診を年度内（4月～翌年3月）に受けて一部負担金を支払った場合、2,000円を限度に補助する制度があり、上記健診でかかった費用も対象となります。